

平成22年度県民意見の反映状況について

宮 城 県

平成22年度に行った公共事業再評価において、提出のあった意見の概要及びその反映状況は、以下のとおりです。

記

- 1 意見募集期間
平成22年6月2日（水）～平成22年7月1日（木） [30日間]
- 2 意見提出件数
4件
- 3 意見の整理の考え方
—
- 4 提出された意見の概要及び反映状況

	事業名	意見の概要	評価結果	意見の反映状況
1	一般県道 小牛田松島線 初原道路改良 事業	<p>整備が早期に完了し、国道45号の渋滞が緩和されるよう期待する。</p> <p>整備後は、これまでの渋滞時に比べ国道45号の通過時間はどの程度短縮されるのか。 (個別事業に対する意見)</p>	事業継続	<p>国道45号の一般県道赤沼松島線交差点から主要地方道仙台松島線愛宕交差点までのルート(約3.4km)と、今回整備を進めている一般県道小牛田松島線を含めたルート(約5.3km)について、平成17年度交通量調査を基に混雑時の車両通過時間を算定し比較すると、約13分から約10分へと約3分短縮されると想定しています。 ※評価書に記載しました。</p>
2	経営体育成 基盤整備事業 (芋埜地区)	<p>栗原市は水田整備が遅れており、中山間地域を中心に営農条件が不利な地域では、農業後継者の不足や農地の汎用化が困難なことから、耕作放棄地の増大による病害虫発生の影響も懸念されている。</p> <p>これらの課題を解決するツールのひとつとして、この芋埜地区も含め、今後も農業基盤の整備を着実に進めてほしい。 (農業農村整備事業全般に対する意見)</p>	事業継続	<p>本県では、良質な宮城米をはじめ麦類・大豆・飼料作物などの安定的な生産と地域農業の中核となる農業者の育成・確保を目的に農業基盤の整備を推進しております。</p> <p>県としましては、栗原市など関係機関との調整を図りながら、地域の方々からの要望を踏まえ、計画的な事業推進に努めてまいります。</p>

	事業名	意見の概要	評価結果	意見の反映状況
3	公共事業再評価制度について	<p>公共事業を行う場合、このような制度は必要と思う。県庁内部だけの評価ではなく、外部（専門家や有識者）の意見も汲み入れて評価を行っていることが重要だと思った。</p> <p>内容的に難しいと思ったが、評価内容や審議状況をホームページで公開しているので、県の取組みが分かり、参考になった。</p>	-	<p>県民の皆様の視点に立った成果重視の行政運営の推進に向け、今後も分かりやすい公表資料の作成及び効果的、効率的な再評価制度の実施に努めてまいります。</p>
4	公共事業再評価制度について	<p>普段、宮城県が実施している公共事業の内容や進み具合などを知る機会がほとんどないので、こうした再評価制度により調書を公表していただくと、一部難しい内容もあるが、事業の現在の状況などを把握できる。</p> <p>現在、公共事業の予算が削減されている中で、事業期間が延長されるなど、公共事業の実施はますます厳しい状況となっていくことと思うが、今後も広く情報公開に努めていただきたい。</p>	-	